



OASE Operation Autonomy Support Engine **Base** 【**実習**】

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

目次

1. はじめに
 - 1.1 Base【実習】について
2. シナリオ説明
 - 2.1 本書のシナリオ
3. 事前設定
 - 3.1 グループ作成
 - 3.2 ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
 - 3.3 トークン払い出し
 - 3.4 アクション設定 (ITAドライバ)
 - 3.5 ディジションテーブル作成
4. 作業実行
 - 4.1 ディジションテーブルファイル作成
 - 4.2 ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
 - 4.3 ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
 - 4.4 アクション実行結果の確認
- A 付録
 - サンプル1

1. はじめに

1.1 Base【実習】について (1/3)

■ まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE) を利用する上で、基本的な利用手順の理解を支援するための資料です。
- 概要を理解したい場合は、< [Exastro OASE Base【座学】](#) > もありますので、そちらをご参照ください。
- 包括的な内容としては、Exastro OASE の公式マニュアル集である < [OASE docs](#) > をご参照ください。

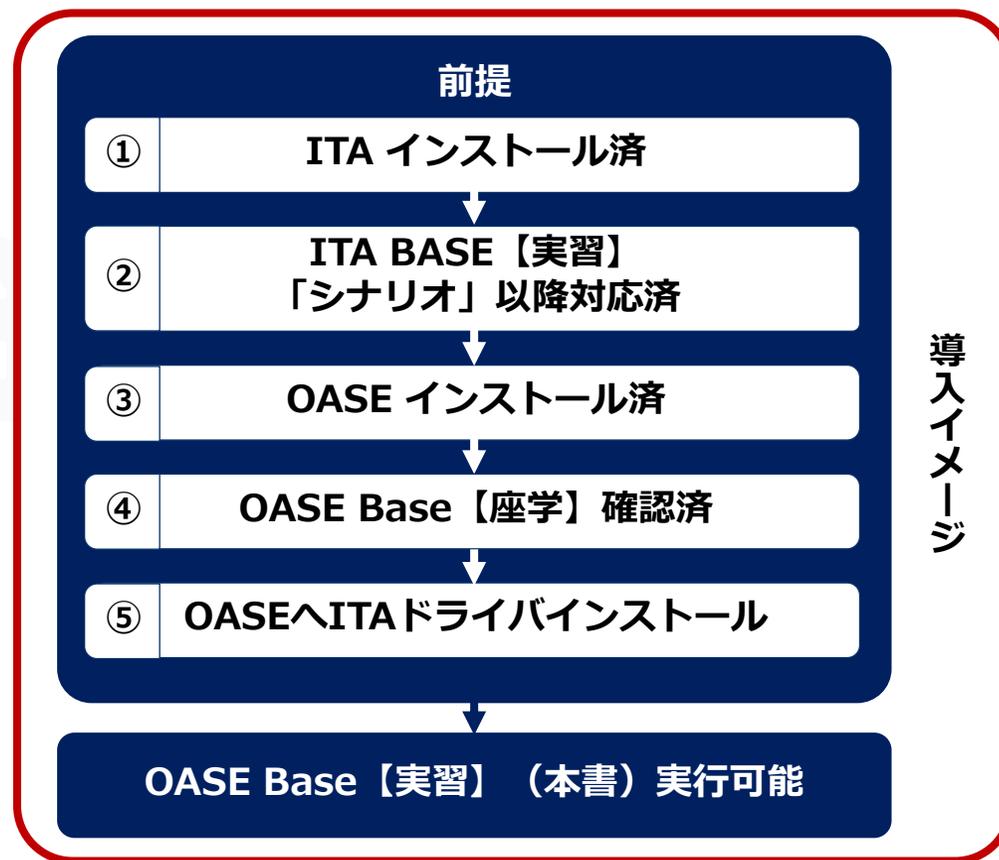


1.1 Base【実習】について (2/3)

前提

● アクションとしてITAを実行するため、以下が導入済みであること

- ① ITAインストールについては以下を参照
 - <[ITA オンラインインストール マニュアル](#)>
- ② ITA BASE【実習】については以下を参照
 - <[IT Automation BASE【実習】](#)>
 - 上記の設定を使用するため実施する
 - 「シナリオ」スライド以降の内容を使用する
- ③ OASEインストールについては以下を参照
 - <[OASE オンラインインストール マニュアル](#)>
 - 一般ユーザ作成時のパスワード通知のため、インストール時にメールサーバの設定が必要
- ④ OASE Base【座学】については以下を参照
 - <[OASE Base【座学】](#)>
- ⑤ ITAドライバインストールについては以下を参照
 - <[環境構築マニュアル-ドライバインストール編-](#)>

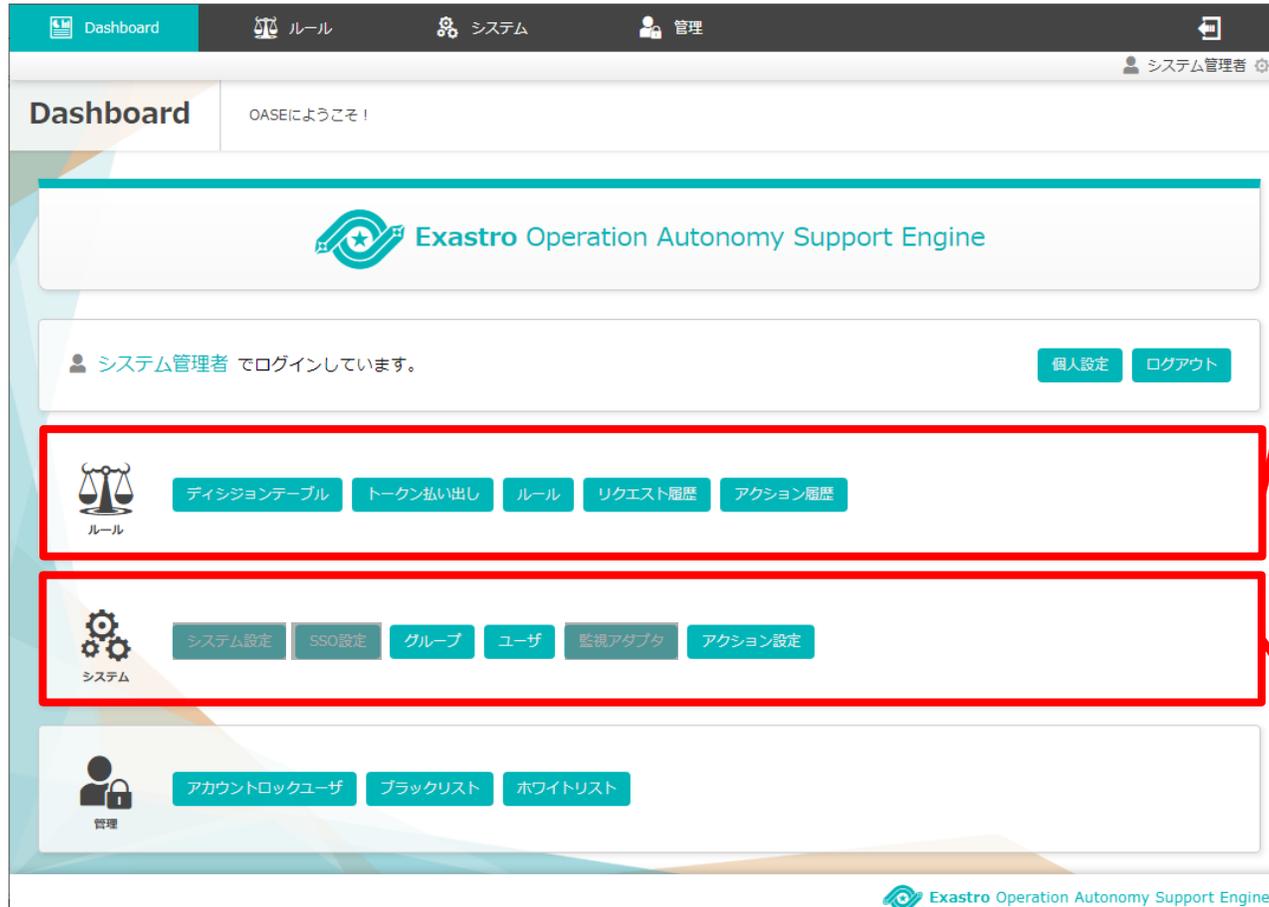


※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

1.1 Base【実習】について (3/3)

BaseではOASEの以下機能（画面）を用いる

- Dashboard画面



カテゴリ：ルール

画面名称

- ディシジョンテーブル
- トークン払い出し
- ルール
- リクエスト履歴
- アクション履歴

カテゴリ：システム

画面名称

- グループ
- ユーザ
- アクション設定

2. シナリオ説明

2.1 本書のシナリオ (1/2)

OASEインストール後からアクション実行するまでのシナリオ

【事前設定】

各種設定

1

グループ作成

2

ユーザ作成、新規ユーザでのログイン

3

トークン払い出し

4

アクション設定 (ITAドライバ)

5

ディビジョンテーブル作成

【作業実行】

ルールの作成・登録

メッセージ投入し
ルールマッチング
および
アクションの実行

6

ディビジョンテーブルファイル作成

7

ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)

8

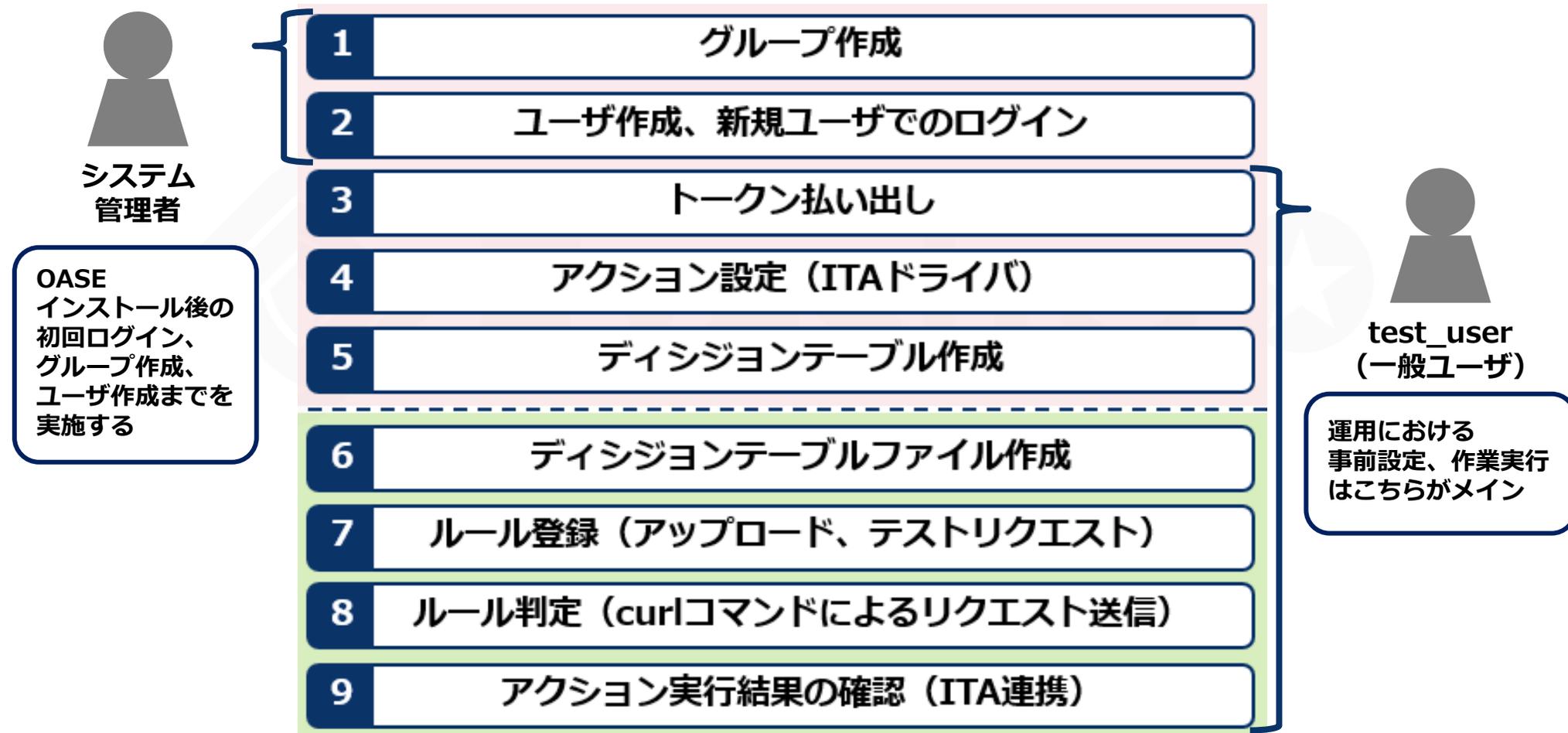
ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)

9

アクション実行結果の確認 (ITA連携)

2.1 本書のシナリオ (2/2)

本シナリオはグループ「test_group」およびユーザ「test_user」を新規作成し、一般ユーザの「test_user」が一連の操作を実施する内容となる



3. 事前設定

3.1 グループ作成

グループ「test_group」の新規追加

- ① システム管理者で初回ログインする
- ② グループ画面に遷移し「test_group」を新規追加する
- ③ 「test_group」のアクセス権限を設定する

2 以下の値を入力する

項目	設定値
グループ名	test_group

3 以下の値を入力する

項目	設定値
アクセス権限	すべて「更新可能」を選択

カテゴリ	画面	機能	× 権限なし	🔍 参照のみ	🔄 更新可能
ルール	ディビジョンテーブル	新規追加	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	トークン払い出し	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
システム	システム設定	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	SSO設定	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	グループ	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	ユーザ	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	アクション設定	---	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

- グループ作成
- ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
- トークン払い出し
- アクション設定 (ITAドライバ)
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成
- ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
- ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
- アクション実行結果の確認

3.2 ユーザ作成、新規ユーザでのログイン

ユーザ「test_user」の新規追加

- ① システム管理者で「ユーザ」画面に遷移
- ② 「ユーザ」画面で「test_user」を新規追加する
- ③ システム管理者からログアウトし「test_user」でログインする

ユーザ

更新	ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者	最終更新日時
	test_user	test_user	test_user@example.com	test_group		

件数 6 表示する件数 50 1 / 1

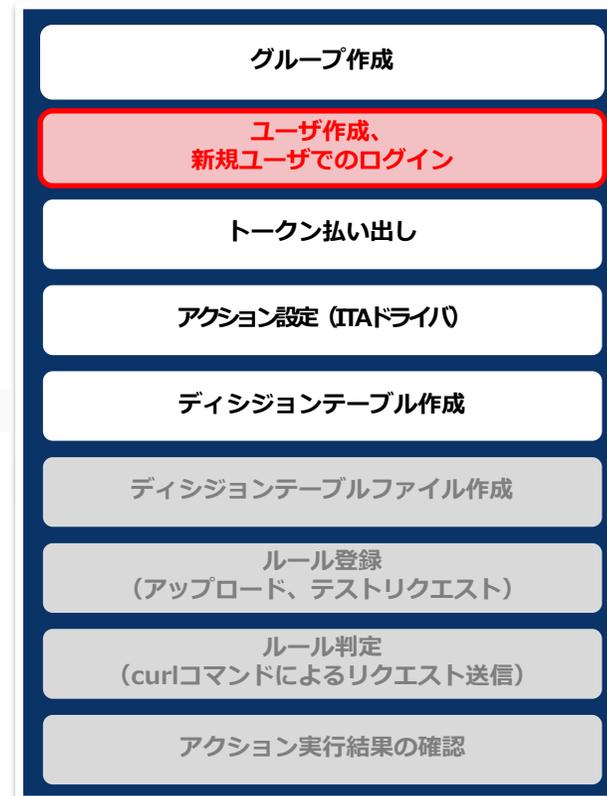
Exastro Operation Autonomy Support Engine

2 以下の値を入力する

項目	設定値
ユーザ名	test_user
ログインID	test_user
メールアドレス	(受信可能なメールアドレス)
グループ	test_group

POINT

ユーザ登録時に入力したメールアドレス宛に「ログインID通知」「パスワード通知」のメール2通が届きます。
記載されているIDとパスワードでOASEにログインしてください。



3.3 トークン払い出し

新規トークンの払い出しを実施

- ① 「新規トークン払い出し」 ボタンを押下
- ② 「新規トークン払い出し」 画面で必要情報を入力
- ③ 「トークン払い出し」 ボタンを押下
- ④ 「トークン」 画面に表示されるトークンをコピーして保持する
- ⑤ 「閉じる」 ボタンを押下

① 新規トークン払い出し

② 以下の値を入力する

項目	設定値
トークン名	(任意の文字列)
グループ別権限	test_group : 権限あり

③ トークン払い出し

④ トークン

⑤ 閉じる

グループ作成

ユーザ作成、
新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITAドライバ)

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成

ルール登録
(アップロード、テストリクエスト)

ルール判定
(curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

POINT

トークンは後述する<[4.3 ルール判定 \(curlコマンドによるリクエスト送信\)](#)>時に使用するため設定が必要です。

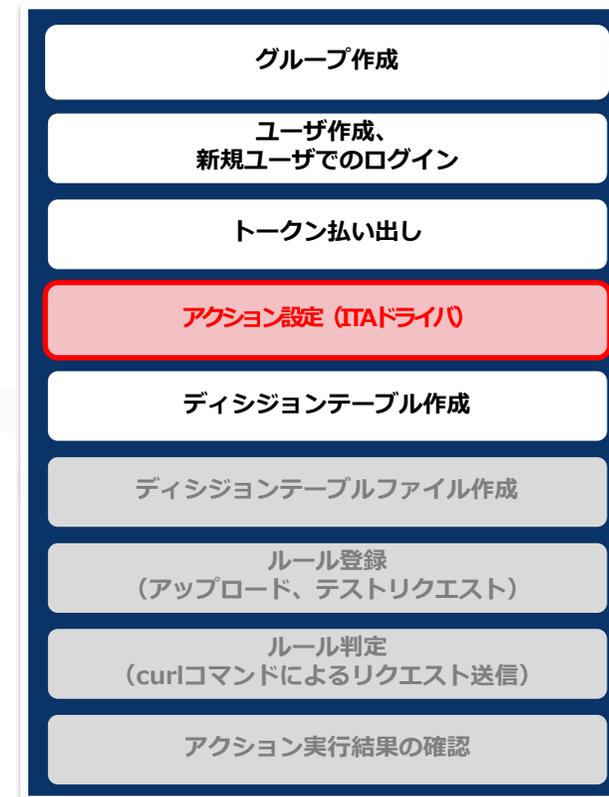
3.4 アクション設定 (ITAドライバ) (1/4)

アクション先の追加

- ① 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下
- ② 「アクション先の選択」欄で「ITA Driver ver1」を選択



※ドライバをインストールしていない場合、上記の画面は表示されません。



POINT

事前に<[環境構築マニュアル - ドライバインストール編](#)>を参照のうえメールドライバをインストールしてください。

3.4 アクション設定 (ITAドライバ) (2/4)

アクション先の設定

- ① 「ITA Driver ver1」画面の必要情報を入力
- ② 「保存」ボタンを押下

項目	設定値
名前	(任意の文字列)
バージョン	1.7.1
プロトコル	http
ホスト/IP	(ITAのホストおよびIPアドレス)
ポート	80
ユーザ名	administrator
パスワード	(ITAにログインできるパスワード)
権限の設定	test_group : 「更新可能」

1 以下の値を入力する

項目	設定値
名前	(任意の文字列)
バージョン	1.7.1
プロトコル	http
ホスト/IP	(ITAのホストおよびIPアドレス)
ポート	80
ユーザ名	administrator
パスワード	(ITAにログインできるパスワード)
権限の設定	test_group : 「更新可能」

グループ作成

ユーザ作成、
新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITAドライバ)

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成

ルール登録
(アップロード、テストリクエスト)

ルール判定
(curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

POINT

「名前」は後述する<[ディシジョンテーブルファイル作成](#)>時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために必要です。

3.4 アクション設定 (ITAドライバ) (3/4)

ITAの登録内容を変更する

- ① ITAにログインし<[Learn ITA BASE【実習】](#)>のスライド「シナリオ」から「Symphony完了確認」まで実施する
※章番号等は変更される場合があります。



- ② ITAの「Ansible-Legacy」メニューグループ > 「代入値管理」メニュー > 「一覧/更新」サブメニューの「具体値」を変更する



2 以下の値を入力する

項目	設定値
具体値	(任意の文字列)

- グループ作成
- ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
- トークン払い出し
- アクション設定 (ITAドライバ)**
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成
- ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
- ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
- アクション実行結果の確認

POINT

「具体値」に入力した名称でディレクトリが作成されます。

3.4 アクション設定 (ITAドライバ) (4/4)

OASE-ITA連携に必要な以下の設定を実施する

- 「管理コンソール」メニューグループ > 「ロール・メニュー紐付管理」メニュー > 「一覧/更新」サブメニューより、「Symphony紐付Movement一覧」が廃止されているのを復活させる

管理コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

Menu

メインメニュー
システム設定
メニューグループ管理
メニュー管理
ロール管理
ユーザ管理
ロール・メニュー紐付管理
ロール・ユーザ紐付管理
シーケンス管理
SSO基本情報管理
SSO属性情報管理
バージョン確認

表示フィルタ

廃止	項番	メニューグループ		メニュー		最終更新日時	最終更新者
廃止のみ	▼フルダウン検索	ID	名称	ID	名称	▼フルダウン検索	▼フルダウン検索
					× Symphony紐付Movement一覧		

フィルタ フィルタクリア

オートフィルタ

一覧/更新

履歴	更新	廃止	項番	ロール	メニューグループ	メニュー	紐付	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	更新	復活	ID	ID	ID	ID	ID	アクセス許可ロール			
			2,100,000,311	1	システム管理者	2100000311 Symphony紐付Movement一覧	履歴のみ		システム管理者	2015/04/01 10:00:00	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

Excel出力

「復活」ボタンを押下する

Symphony紐付Movement一覧

グループ作成

ユーザ作成、
新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITAドライバ)

ディビジョンテーブル作成

ディビジョンテーブルファイル作成

ルール登録
(アップロード、テストリクエスト)

ルール判定
(curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

3.5 ディジジョンテーブル作成 (1/2)

ディジジョンテーブルの作成

- ① 「ディジジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下
- ② 「新規追加」画面の「基本情報・権限」タブに必要情報を入力
- ③ 「条件式の設定へ」ボタンを押下

1

2

3

2 以下の値を入力する

「基本情報・権限」タブ	
項目	設定値
ディジジョンテーブル名	(任意の文字列)
権限の設定	test_group : 全て「更新可能」

グループ作成

ユーザ作成、
新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITAドライバ)

ディジジョンテーブル作成

ディジジョンテーブルファイル作成

ルール登録
(アップロード、テストリクエスト)

ルール判定
(curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

POINT

「権限の設定」では最低でも1グループは必ず「更新可能」を設定してください。
ディジジョンテーブルの更新ができなくなります。

3.5 ディジジョンテーブル作成 (2/2)

ディジジョンテーブルの作成

- ④ 「新規追加」画面の「条件式」タブに必要情報を入力
- ⑤ 「未知事象通知の設定へ」ボタンを押下
- ⑥ 「新規追加」画面の「未知事象通知」タブに必要情報を入力
- ⑦ 「保存」ボタンを押下

「条件式」タブ	
項目	設定値
条件名	(任意の文字列)
条件式	プルダウン選択

4 上記の値を入力する

「未知事象通知」タブ	
項目	設定値
未知事象通知	「メールで通知する」を選択
連絡先メールアドレス	(受信可能なメールアドレス)

6 上記の値を入力する

新規追加

基本情報・権限 条件式 未知事象通知

条件式

操作	条件名	条件式	削除
	アラートレベル	正規表現に一致する	
	対象	正規表現に一致する	

+ 条件式を追加する

未知事象通知の設定へ

新規追加

基本情報・権限 条件式 未知事象通知

未知事象通知設定

未知事象通知 メールで通知する

メール通知設定

通知先メールアドレス

閉じる 保存

グループ作成
ユーザ作成、 新規ユーザでのログイン
トークン払い出し
アクション設定 (ITADライバ)
ディジジョンテーブル作成
ディジジョンテーブルファイル作成
ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
アクション実行結果の確認

POINT

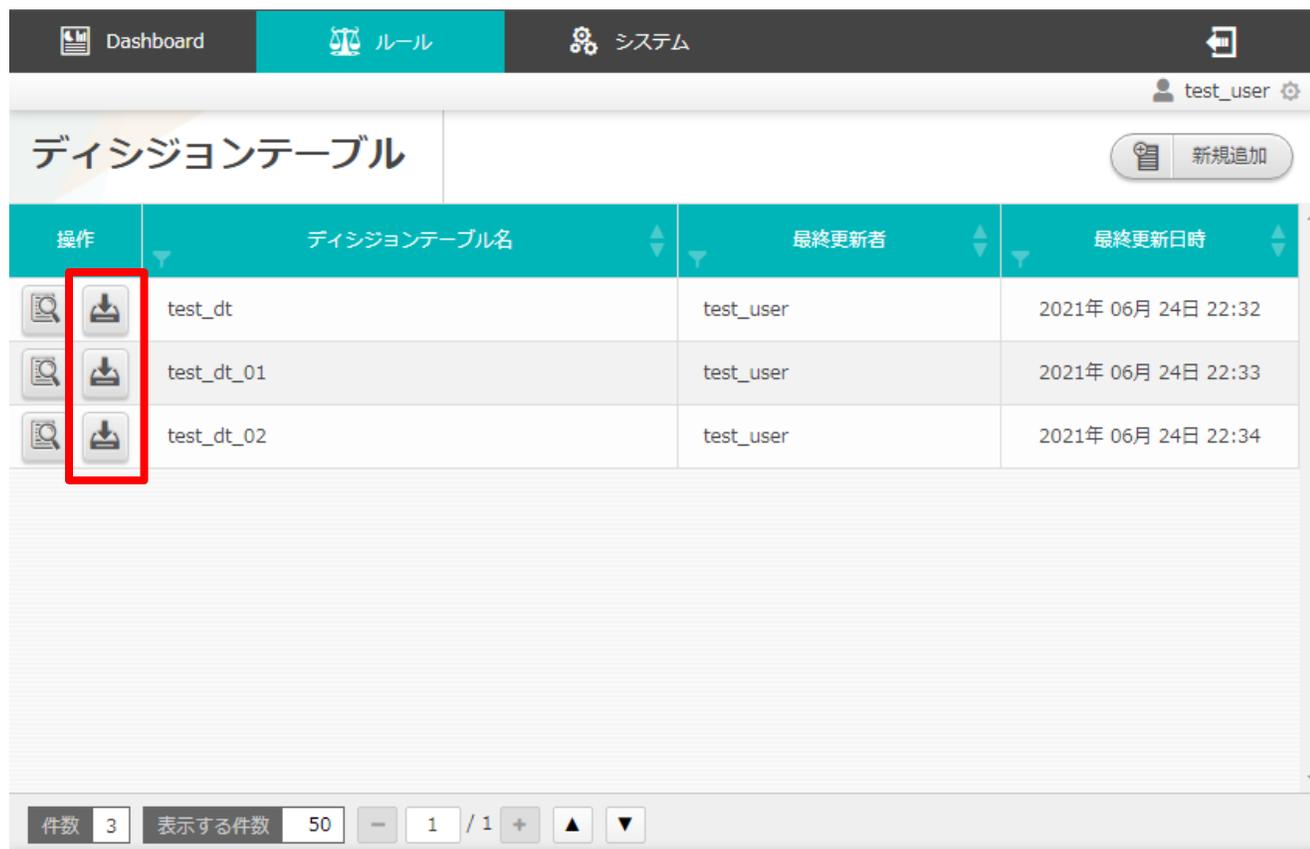
設定した条件式には、後述するディジジョンテーブルファイルの「条件部」で具体値を設定します。

4. 作業実行

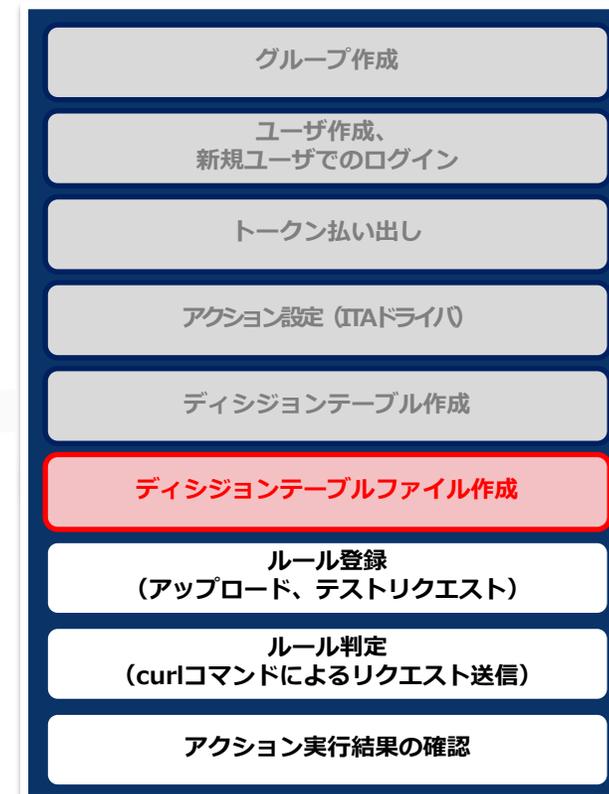
4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 (1/3)

ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 「3.2 ディシジョンテーブルの作成」で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする



操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test_dt	test_user	2021年 06月 24日 22:32
	test_dt_01	test_user	2021年 06月 24日 22:33
	test_dt_02	test_user	2021年 06月 24日 22:34



POINT

ディシジョンテーブルファイルの名前は自動生成されます (例「id000000000000.xlsx」)。
先述の「ディシジョンテーブル名」とは異なります。
各項目の記述内容については次のページで説明します。

4.1 ディジジョンテーブルファイル作成 (2/3)

ディジジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディジジョンテーブルファイルの記述例は後述の<[A 付録 サンプル1](#)>を参照

①	②					③												④	
ルール説明	アラートレベル (正規表現可一致)	対象(正規表現可一致)	ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報 (必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可	アクション実行パラメータ情報 (必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可	リトライ回数	リトライ間隔	抑制回数	抑制間隔	条件回数	条件期間	大グループ (必須) ※不要の場合は「X」を定義	優先順位	小グループ (必須) ※不要の場合は「X」を定義	優先順位	有効日	無効日	
ルール1	^.Error.*\$	^.HDD.*\$	check_Error	ITA(ver1)	ITA_NAME=test_ita,SYMPHONY_CLASS_ID=1,OPERATION_ID=1	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X			
ルール2	^.Warning.*\$	^.memory.*\$	check_Warnin	なし	X	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X			
ルール3	^.info.*\$	^.%.*\$	check_Info	なし	X	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X			

グループ作成

ユーザ作成、新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITAドライバ)

ディジジョンテーブル作成

ディジジョンテーブルファイル作成

ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)

ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none"> ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。 「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。 アクションを実行してもよいか、事前承認メールを送る設定も可能。
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

POINT

値の記述方法はディジジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。
ディジジョンテーブルファイルの更新後、任意の名称にファイル名を変更することが可能です。

4.1 ディジジョンテーブルファイル作成 (3/3)

アクションパラメータ情報の記入方法

- 以下の項目を入力する

No.	アクションパラメータ情報	設定値
1	ITA_NAME	OASEの「ITA Driver ver1」タブ>「名前」に登録している名称
2	SYMPHONY_CLASS_ID	ITAの「Symphony」メニューグループ>「Symphony作業実行」メニュー>「Symphony[一覧]」サブメニューに記載のID
3	OPERATION_ID	ITAの「Symphony」メニューグループ>「Symphony作業実行」メニュー>「オペレーション[一覧]」サブメニューに記載のID

アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報 (必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可
ITA(ver1)	ITA_NAME=test_ita,SYMPHONY_CLASS_ID=1,OPERATION_ID=1

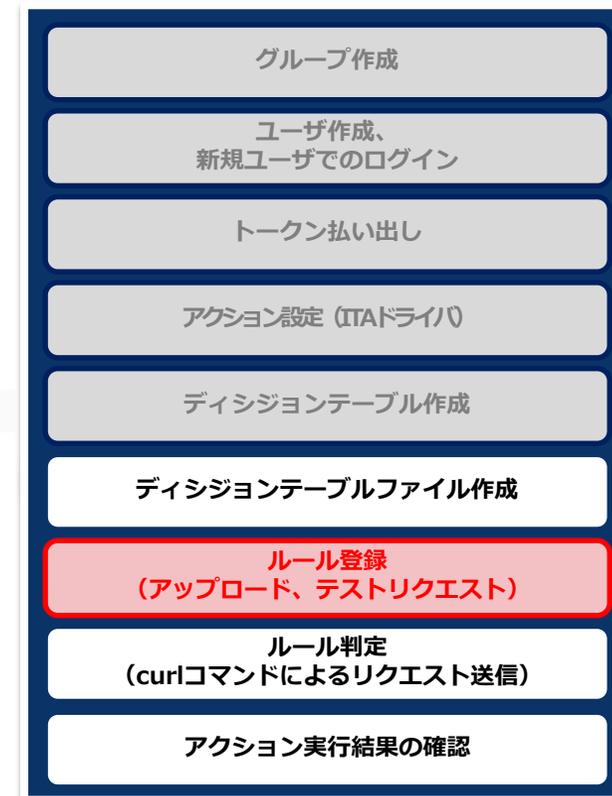
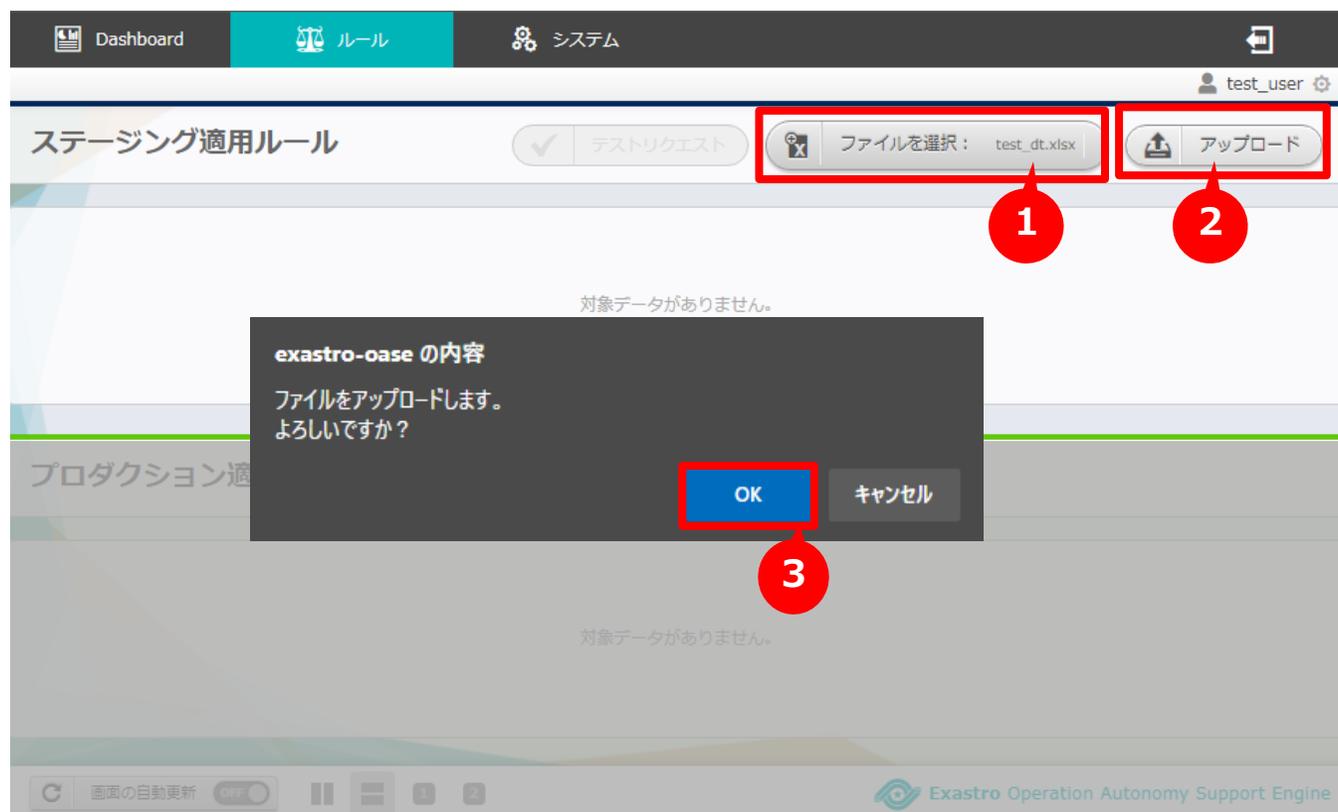
The screenshot shows the Exastro IT Automation Symphony interface. On the left, the 'Menu' sidebar is visible. The main content area shows two tables. The top table is 'Symphony[一覧]' with columns for selection, Symphony Class ID, Symphony Name, Description, Access Permission, and Remarks. A red box highlights the value '1' in the 'Symphony Class ID' column, labeled with a circled '2'. The bottom table is 'オペレーション[一覧]' with columns for selection, Operation ID, Operation Name, Execution Start Date, and Execution End Date. A red box highlights the value '1' in the 'Operation ID' column, labeled with a circled '3'. Below these, the 'アクション設定' (Action Settings) screen for 'ITA Driver ver1' is shown. A red box highlights the '名前' (Name) field containing 'test_ita', labeled with a circled '1'. Red arrows point from these three elements to the parameter string in the table above.

A vertical flowchart of system actions. The steps are: グループ作成, ユーザ作成、新規ユーザでのログイン, トークン払い出し, アクション設定 (ITAドライバ), ディジジョンテーブル作成, **ディジジョンテーブルファイル作成** (highlighted in red), ルール登録 (アップロード、テストリクエスト), ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信), and アクション実行結果の確認.

4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（1/6）

テストリクエストしたいディビジョンテーブルファイルを選ぶ

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押下し作成したディビジョンテーブルファイルを選択
- ② 「アップロード」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（2/6）

テストリクエスト対象の選択

- ① 「作業ステータス」欄が「ステージング適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下
- ② 「ディシジョンテーブル」タブの「ディシジョンテーブル名選択欄にて、テストしたいディシジョンテーブル名を選択
- ③ 「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下

Dashboard | ルール | システム | test_user

ステージング適用ルール | テストリクエスト | ファイルを選択: ファイルが選択されていません。 | アップロード | 過去を含め表示: OFF

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_dt	test_dt.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	test_user	2021年 06月 25日 09:07

1

2

3

テストリクエスト

ディシジョンテーブル

設定

ログ

ディシジョンテーブル名

ディシジョンテーブル名選択: test_dt

ディシジョンテーブル名	test_dt
ファイル名	test_dt.xlsx
運用ステータス	検証未実施
作業ステータス	ステージング適用完了
最終更新者	test_user
最終更新日時	2021年06月25日09:26

テストリクエスト設定へ

Exastro Operation Autonomy Support Engine

グループ作成

ユーザ作成、
新規ユーザでのログイン

トークン払い出し

アクション設定 (ITADライバ)

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成

**ルール登録
(アップロード、テストリクエスト)**

ルール判定
(curlコマンドによるリクエスト送信)

アクション実行結果の確認

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については[<利用手順マニュアル- ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)>](#)を参照ください。

4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（3/6）

テストで値を入れて実行する

- ① 「設定」タブ内にて「一括テスト」タブを選択
- ② 「一括テスト用Excelファイルのダウンロード」ボタンを押下
- ③ 作成したルールに合致する値をファイルに記述

リクエスト名	イベント発生日時	アラートレベル	対象
ルール1用	2019-5-17 1:20:30	Error:	HDD usage 80% over
ルール2用	2019-5-17 1:20:30	Warning:	memory usage 80% over
ルール3用	2019-5-17 1:20:30	[info]	HDD usage 20% over

↑リクエストを増やす場合は、4行目をコピー、挿入によって行を増やしてください

- グループ作成
- ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
- トークン払い出し
- アクション設定 (ITADライバ)
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成
- ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)**
- ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
- アクション実行結果の確認

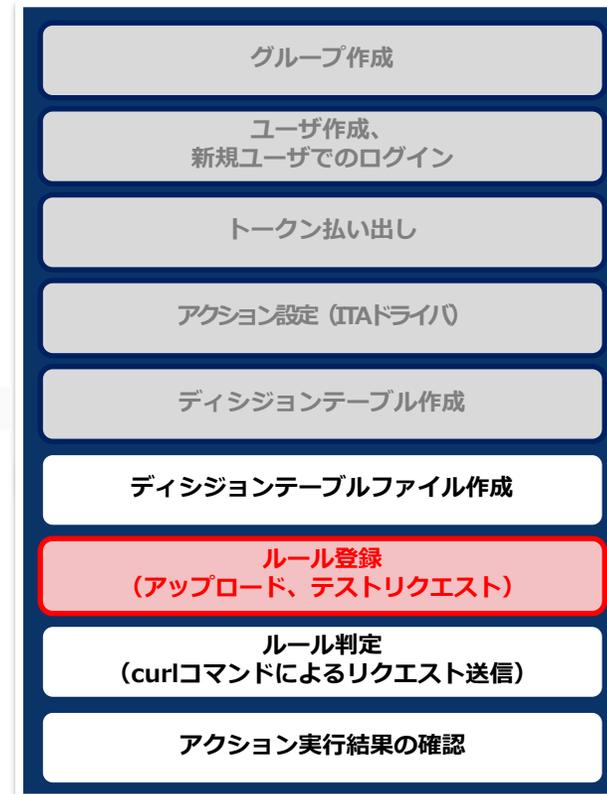
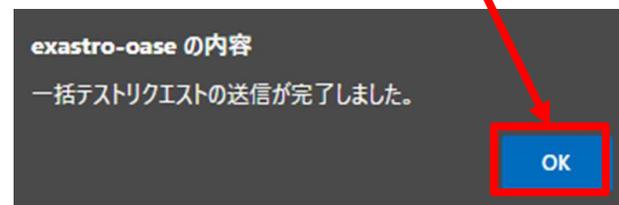
POINT

作成したディビジョンテーブルファイルの「条件部」に合致する値か否かテストします。

4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（4/6）

テストで値を入れて実行する

- ④ 「ファイルを選択する」ボタンを押下し、更新した一括テスト用Excelファイルを選択
- ⑤ 「実行」ボタンを押下
- ⑥ ダイアログの「OK」ボタンを押下

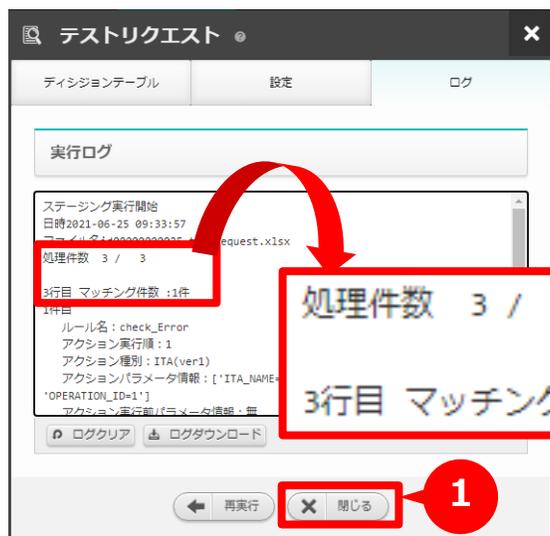


4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（5/6）

ルールが有効か確認する

- 「ログ」タブの「実行ログ」欄にてログを確認

- ① 「閉じる」ボタンを押下
- ② ダイアログの「OK」ボタンを押下

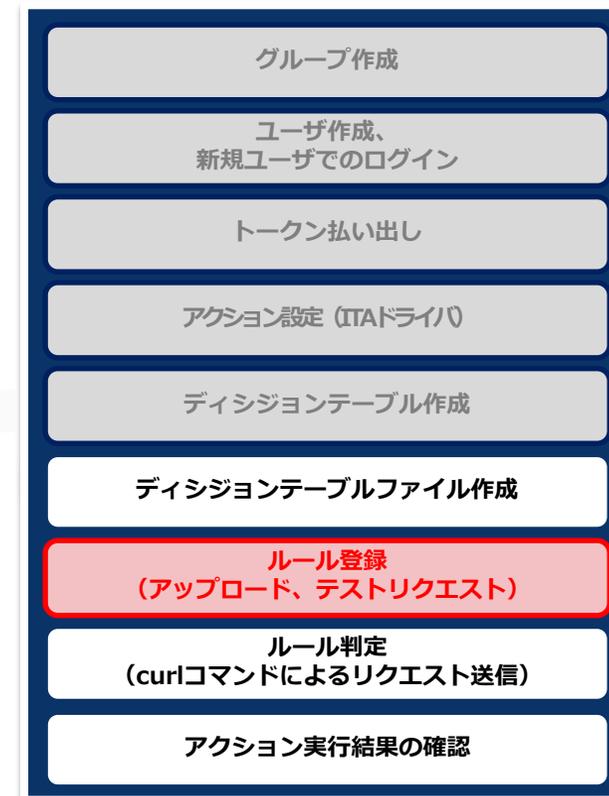
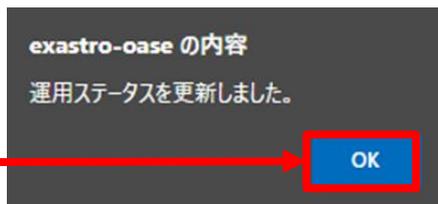
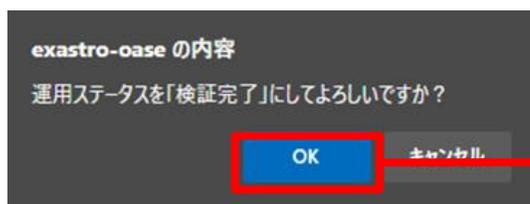


処理件数 3 / 3
3行目 マッチング件数 :1件



- 正常に処理されルールがマッチングした場合

- ダイアログの「OK」ボタンを押下



POINT

前述の<4.1 ディジションテーブルファイル作成>で作成したルールに合致する場合、「実行ログ」欄に「〇行目 マッチング件数：〇件」と表示されます。ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

4.2 ルール登録（アップロード、テストリクエスト）（6/6）

検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするため「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる

- ① 「ステージング適用ルール」の「運用ステータス」欄が「検証完了」に遷移していることを確認
- ② 「操作」欄の「適用ボタン」を押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下

The screenshot shows the 'ルール' (Rules) page in the Exastro system. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'ルール', and 'システム'. The main content area is titled 'ステージング適用ルール' (Staging Applied Rules) and contains a table with columns for '操作' (Action), 'ディビジョンテーブル名' (Division Table Name), 'ルールファイル' (Rule File), '運用ステータス' (Operational Status), and '作業ステータス' (Task Status). A row for 'test_dt' is highlighted, with its '運用ステータス' set to '検証完了' (Verified). A red box highlights the '検証完了' status, with callout 1 stating: 'テストリクエストが正常にルールマッチングされた場合「検証完了」と表示される' (When a test request is normally rule-matched, 'Verified' is displayed). Below the table, two dialog boxes are shown. The first dialog asks 'exastro-oase の内容 プロダクション適用します。よろしいですか?' (Content of exastro-oase: Apply to production. Is it okay?). The second dialog asks 'exastro-oase の内容 プロダクション適用処理を開始します。' (Content of exastro-oase: Start production application processing.). Both dialogs have an 'OK' button highlighted with a red box and callout 3, which states: 'プロダクション環境の運用ステータスが「プロダクション適用完了」に遷移すると本番環境で使用が可能となる' (When the operational status in the production environment transitions to 'Production Application Completed', it becomes possible to use in the production environment). Below the dialogs, the 'プロダクション適用ルール' (Production Applied Rules) table is shown, with the 'test_dt' row now having a '運用ステータス' of 'プロダクション適用' (Production Applied) and a '作業ステータス' of 'プロダクション適用完了' (Production Application Completed).

A vertical menu of system actions is shown on the right side of the slide. The actions are listed from top to bottom: 'グループ作成' (Group Creation), 'ユーザ作成、新規ユーザでのログイン' (User Creation, Login with New User), 'トークン払い出し' (Token Release), 'アクション設定 (ITADライバ)' (Action Settings (ITAD Driver)), 'ディビジョンテーブル作成' (Division Table Creation), 'ディビジョンテーブルファイル作成' (Division Table File Creation), 'ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)' (Rule Registration (Upload, Test Request)), 'ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)' (Rule Judgment (Request Transmission via curl Command)), and 'アクション実行結果の確認' (Confirmation of Action Execution Results). The 'ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)' item is highlighted with a red background.

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については<[利用手順マニュアル -ルール画面編- \(2\)ルール画面\(プロダクション\)](#)>を参照ください。

4.3 ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信) (1/2)

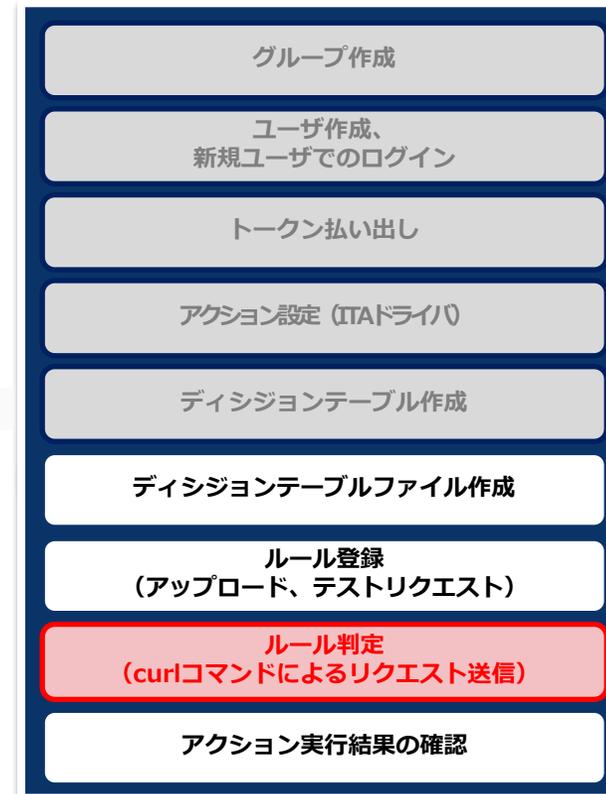
メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えただうえで実行する

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>/oase_web/event/event/eventsrequest" ¥  
-H "accept: application/json" ¥  
-H "Authorization: Bearer <⑥トークン>" ¥  
-d '{"decisiontable":"<②ディシジョンテーブル名>","requesttype":"<③リクエスト種別>","eventdatetime":"<④イベント発生日時>","eventinfo":["<⑤イベント情報>"]}'
```

① ホスト名	有効なホスト名、IPアドレスを入力
② ディシジョンテーブル名	プロダクション適用済みのディシジョンテーブル名を入力
③ リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」の「1」を入力 例) "requesttype":"1"
④ イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) "eventdatetime":"2020/01/01 01:01:01"
⑤ イベント情報	リスト形式で指定 例) ["2","あああ"]
⑥ トークン	「トークン払い出し」画面で払い出したトークンを入力

※curlコマンドの使用例は後述の<[A 付録 サンプル1](#)>を参照



POINT

HTTPSリクエストの詳細については
<[RestAPI機能 利用マニュアル](#)>を参照してください。

4.3 ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信) (2/2)

「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される
- 「リクエスト履歴」画面で表示する項目は「■」ボタン押下により変更可能

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報
✓	プロダクション環境	test_dt	2021年6月25日9:42	{ "EVENT_INFO": [{"Error": "HDD usage 80% over"}] }
?	ステージング環境	test_dt	2021年6月25日9:33	{ "EVENT_INFO": [{"info": "HDD usage 20% over"}] }
✓	ステージング環境	test_dt	2021年6月25日9:33	{ "EVENT_INFO": [{"memory usage 80% over"}] }
✓	ステージング環境	test_dt	2021年6月25日9:33	{ "EVENT_INFO": [{"D usage 80% over"}] }
✓	ステージング環境	test_dt	2021年6月25日9:33	{ "EVENT_INFO": [{"usage 80% over", "Error: HDD usage 80% over"}] }

- グループ作成
- ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
- トークン払い出し
- アクション設定 (ITADライバ)
- ディシジョンテーブル作成
- ディシジョンテーブルファイル作成
- ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
- ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)**
- アクション実行結果の確認

4.4 アクション実行結果の確認(1/3)

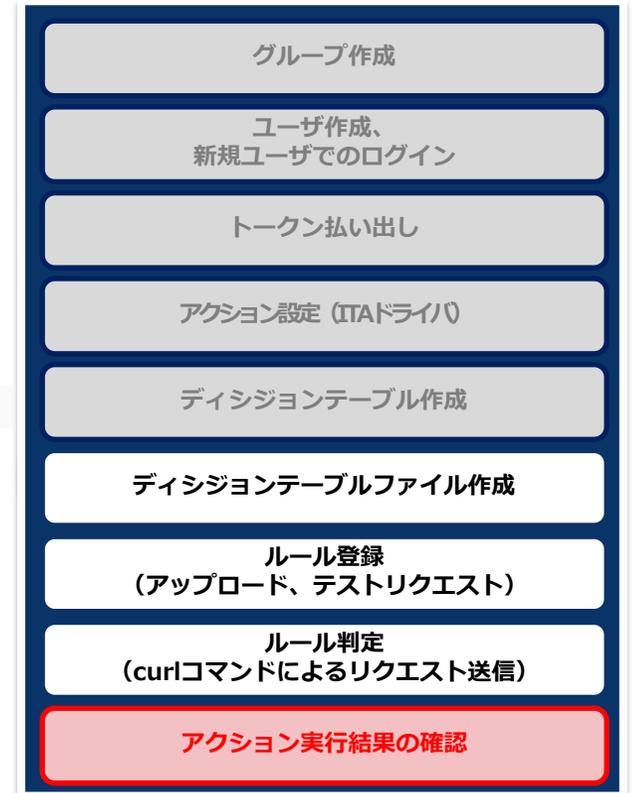
アクション実行

- ルールマッチした場合、事前設定で設定したとおりアクションが実行され「アクション履歴」画面で結果の確認が可能
- 前述した<[4.1 ディジションテーブルファイル作成](#)>のアクション部にて設定した内容でアクションが実行される

アクション履歴

- ルールマッチし実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する

状態	操作	ディジションテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓	  	test_dt	check_Error	ITA(ver1)	2021年 06月 25日 10:49	test_user
!	  	test_dt	check_Error	ITA(ver1)	2021年 06月 25日 09:45	test_user



POINT

アイコンの詳細については<[利用手順マニュアル -アクション履歴編-](#)>を参照してください。

4.4 アクション実行結果の確認(2/3)

ITAで処理が実行されたことを確認する

- OASEのログ詳細より、正常に処理が完了したことを確認



[2021-06-25 10:50:08]実行状況の取得が完了しました。実行状況=[処理済み(正常終了)] (MOSJA01054)

- ITAの「Symphony作業一覧」より、「ステータス：正常終了」となっていることを確認



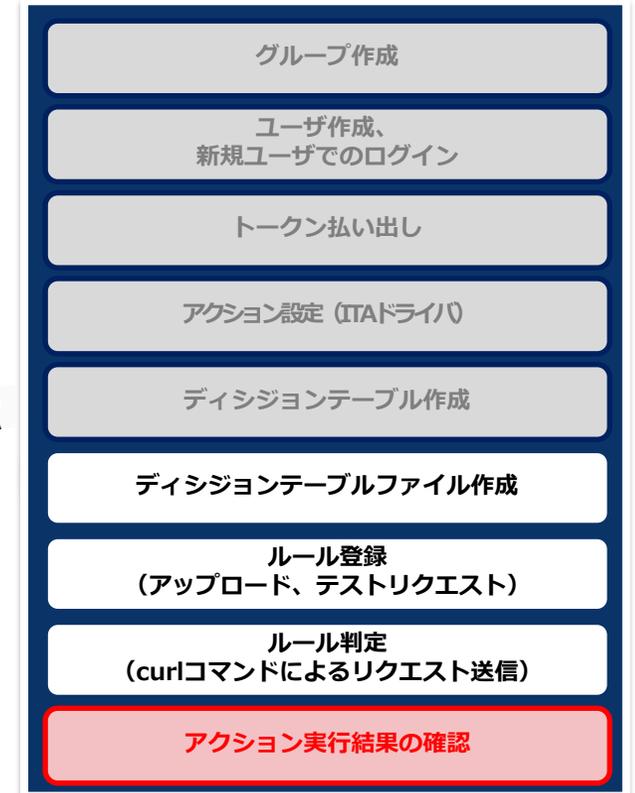
ステータス

正常終了

- 設定した内容で新規にディレクトリが作成されていることを確認

```
[ tmp ]# pwd
/tmp
[ tmp ]# find ./ -name "*directory" -type d
./testdirectory
[ tmp ]#
```

```
[ tmp ]# find ./ -name "*directory" -type d
./testdirectory
./oase_testdirectory
[ tmp ]#
```



4.4 アクション実行結果の確認(3/3)

未知事象の場合

- 既知事象として定義できていないものがリクエスト送信された場合、「[OASE]未知事象通知」というタイトルのメールが届く

リクエスト履歴

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル
✓	プロダクション環境	test_dt
✓	プロダクション環境	test_dt
?	ステージング環境	test_dt
✓	ステージング環境	test_dt
✓	ステージング環境	test_dt
✓	ステージング環境	test_dt

メール通知内容:

2021/06/25 (金) 12:40
noreply@example.com
[OASE]未知事象通知

本メールは、『Operation Autonomy Support Engine』より自動送信しています。

設定されたルールにマッチされないイベント情報が OASE に投入されました。未知事象となりますのでご確認ください。

[ディシジョンテーブル名]
test_dt

[イベント発生日時]
2021-04-26 02:20:00+00:00

[リクエスト受信日時]
2021-06-25 03:39:48.301611+00:00

[イベント情報]
{ "EVENT_INFO": { "message": "SKIP" } }

[トレース ID]
TOS_20210625033948269850_0000000144

ルールマッチ状況 : ルール未検出

- グループ作成
- ユーザ作成、新規ユーザでのログイン
- トークン払い出し
- アクション設定 (ITADライバ)
- ディシジョンテーブル作成
- ディシジョンテーブルファイル作成
- ルール登録 (アップロード、テストリクエスト)
- ルール判定 (curlコマンドによるリクエスト送信)
- アクション実行結果の確認**

A 付録

サンプル値を入力しOASEを実行する

- 「Error : 」および「HDD」というメッセージが投入された場合、ITAが実行され「oase_testdirectory」という名称のディレクトリが作成されるようにする
- 既知事象ではないメッセージ（「message:」および「SKIP」）を受け取った場合は「[OASE]未知事象通知」というタイトルのメールで通知するようにする

【事前設定】

① 「トークン払い出し」画面

- curlコマンドによるリクエスト送信時に必要なトークンを用意する

トークン名	practice_token
-------	----------------

(他、必要情報を登録)

② 「アクション設定」画面

- 「ITA Driver ver1」を用意する

名前	test_ita
----	----------

バージョン	1.7.1
-------	-------

(他、必要情報を登録)

③ 「ディシジョンテーブル」画面

- 「アラートレベル」「対象」が合致条件となるディシジョンテーブルを作成する

ディシジョンテーブル名	test_dt
-------------	---------

権限の設定 (test_group)	全て「更新可能」
-----------------------	----------

条件名	条件式
アラートレベル	正規表現に一致する
対象	正規表現に一致する

未知事象通知	メールで通知する
--------	----------

(他、必要情報を登録)

POINT

本書内<[3.3 トークンの払い出し](#)>、<[3.4 アクション設定 \(ITAドライバ\)](#)>、<[3.5 ディシジョンテーブル作成](#)>の範囲です。

【作業実行】

④ 「ディシジョンテーブル」 ファイル

- ディシジョンテーブルファイルをリネームして保存する

ファイル名

- 「アラートレベル : "Error:"」 「対象 : "HDD"」 がヒットするルールを作成する

ルール説明	アラートレベル	対象	ルール名	アクション種別	アクションパラメータ情報
ルール1	^.*Error.*\$	^.*HDD.*\$	check_Error	ITA(ver1)	ITA_NAME=test_ita,SYMPHONY_CLASS_ID=1,OPERATION_ID=1
ルール2	^.*Warning.*\$	^.*memory.*\$	check_Warning	なし	X
ルール3	^.*info.*\$	^.*%.*\$	check_Info	なし	X

(他、ディシジョンテーブルファイルの「シート : 記述例」を参考に必要情報を登録)

⑤ 「ルール (ステージング適用ルール)」 画面

- 作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

ファイルを選択

POINT

本書内<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成](#)>、<[4.2 ルール登録 \(アップロード、テストリクエスト\)](#)>の範囲です。

⑥ 「テストリクエスト」画面

- ・ アップロードしたディシジョンテーブルファイルに複数のリクエストが来た場合、どのルールがマッチングするかテストする

ディシジョンテーブル名選択

test_dt

一括テストリクエスト

リクエスト名	イベント発生日時	アラートレベル	対象
ルール1用	2019-5-17 1:20:30	Error:	HDD usage 80% over
ルール2用	2019-5-17 1:20:30	Warning:	memory usage 80% over
ルール3用	2019-5-17 1:20:30	[info]	HDD usage 20% over

ファイルを選択

id0000000000xx_testrequest.xlsx

POINT

本書内 [<4.2 ルール登録 \(アップロード、テストリクエスト\)>](#) の範囲です。

⑦ターミナル操作 (Linuxサーバ)

- 用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる ※赤字箇所はご変更ください。

```
curl -X POST -k "https://<Hostname>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" \
  -d '{"decisiontable":"test_dt","requesttype":"1","eventdatetime":"2020/01/01
01:01:01","eventinfo":["Error:","HDD usage 80% over"]}' -H "Authorization: Bearer <Access_Token>"
```

⑧未知事象通知

下記情報のメールが
届いたことを確認する

件名	[OASE]未知事象通知
本文	[ディシジョンテーブル名] [イベント発生日時] [リクエスト受信日時] [イベント情報] [トレースID]



メール通知
イメージ

POINT

本書内<[4.3 ルール判定 \(curlコマンドによるリクエスト送信\)](#)>および<[4.4 アクション実行結果の確認](#)>の範囲です。



Exastro